

産業別雇用の変動：1880—1940 年

梅 村 又 次

本稿は本誌 19 巻 4 号に発表した「有業者数の新推計：1871～1920 年」の続篇である。1880—83 年および 1906—36 年の産業別有業者数は 1920 年および 1930 年の「国勢調査」の計数を「死因統計」からえられる職業別死亡者のデータを用いて前後に延長推計したものである。その際に予め設定された仮定は産業間の死亡率格差は一定であるということであった。推計は男女別の資料が欠けている 1880—82 年の他はすべて男女別に行なわれた。また資料を欠く 1937—39 年はその前後年次の直線補間による暫定数字である。A 系列は内地在住の内地人に関する年央現在の計数であり、外地人や外国人を含まない。B 系列は内地在住の全人口に関する 10 月 1 日現在の計数であり、両系列は 1920 年で接続されている。推計方法や資料の詳細については紙幅の制約から今回も残念ながら割愛せざるをえない。なお前稿で発表した部分についてもその後の検討の結果若干の改訂を加えたので、今回その部分も本稿末尾の付表に掲げておいたのであわせ参照されたい。

I 1880—1906 年の雇用動向

1880 年代の前半期は松方が計画的に踏んだ急ブレーキのためにインフレ街道を走ってきた経済がスピンをおこした時期であるだけに、その雇用面への影響は経済社会の両面において大いに興味のあるところである。しかし、1880—83 年についての有業者の産業部門別配置を示す第 1 表のデータからはそうした気配は一向に読みとれそうにもない。それには次の 3 つの理由が考えられる。

- (1) 原資料の精度が不足していること
- (2) GNE デフレーターは 1881 年から 1886 年までに約 28% 下落しているが、第 1 表のデータはこのデフレ過程のようやく前半をカバーしているにすぎないので、デフレの雇用面への影響がまだ十分には表面化するに至っていないこと
- (3) さらに当時は職業の分化が進んでおらず、兼業が広く行なわれていたために、デフレの雇用面への影響はあらかじめ兼業の伸縮に吸収されてしまって、本業までへは容易に波及しないこと

第 1 表 1880 年代前期の産業別有業者

		農 林 業	漁 業	鉱 工 業	土木建築業	商 業	諸 業	計
		実 数(1000 人)						
1880		15 641	341	1 914	244	1 984	1 751	21 875
1881		15 642	347	2 001	283	1 977	1 696	21 946
1882		15 646	351	1 983	364	1 948	1 679	21 971
1883	計	15 648	358	2 091	307	2 007	1 672	22 083
	男	8 550	333	1 316	300	1 333	938	12 770
	女	7 098	25	775	7	674	734	9 313
1906	計	16 158	549	3 211	556	2 346	2 241	25 061
	男	8 836	494	2 080	544	1 595	1 441	14 990
	女	7 322	55	1 131	12	751	800	10 071
		5 カ年当り変化率(%)						
1883—1906	計	0.7	11.6	11.7	17.6	3.7	7.4	2.9
	男	0.7	10.5	12.6	17.7	4.3	11.7	3.8
	女	0.7	26.1	10.0	15.5	2.5	2.0	1.8

そこで、ここでは雇用の年々の変化において、専ら 1880 年代前期の産業部門別雇用の大勢をとらえることとしたい。

当時有業者の 71% は農林業をその本業としていた。これに対応する 1872 年の計数は 72.5% であって、その差ははなはだ僅少だから、第 1 表から観察される有業者の産業別分布はほぼそのまま 1870 年代にも妥当するものとみてよいだろう。そのようなものとして第 1 表の計数をみていくこととしたい。ところで、農林業 70% というのは本業者だけについてのことで、そのかげには 1879 年の山梨県や 1887 年の山形県の調査などにみるように兼業として商工業等に従事していた者がきわめて多数あったのだから、このことを常に念頭において判断しないと大きなミスをおかしかねない。例えば、農林業 70% という計数が示唆する以上に当時のわが国では市場経済が発展していて、それに応じて社会的分業もまたかなりの程度に進展していたとみるべきであろう。かの悪名高き松方デフレの破壊的作用もこうした市場経済の成熟を前提せずしては到底理解できそうにもない。

第二次産業が全有業者の 10% 前後であるのにくらべてサービス産業は 17% 前後とははなはだ大きい。これが事実とすれば、わが国におけるいわゆるサービス部門の肥大化は遠く明治初年ないしは旧幕時代にまでも遡るということになるわけだが、果してそう考えてよいのだろうか。この点を次に検討しよう。

まず統計上の問題をはっきりさせておかなければならない。第 1 表の諸業は商業以外のサービス部門、例えば交通業、公務自由サービス業等とともに 1906 年以降の推計に採用された産業分類表における「分類不詳」に相当する部分を含んでいる。この分類不詳の有業者は大部分サービス部門の有業者であると断定すべき何等の理由もないのだから、これはサービス部門とは別個に取扱われるべきである。少なくとも新たな情報がえられるまでは独立の項目とせざるをえない。ところで、1906 年以降の時期についての推計結果によると、分類不詳はおおよそ有業者総数の 4—5% に当たっている。仮にこの計数をそのまま 1880 年代にも適

用可能なものとみなすならば、サービス産業のウェイトは実は 17% ではなくて、12~13% と書きかえられる。さきにみた第二次産業とサービス産業の 7 ポイントものウェイトの差の半はこうして消失してしまうのである。

第二にわれわれは当時における就業の実態にかかわる問題を考慮しなければならない。すでに農林業に関連して述べたように、当時は商業と工業との間でも職業の分化はまだ不十分にしか進展しておらず、例えば製造問屋のように商業と工業とを同じ屋根の下で兼ね営んでいる経営形態や連雀商人のように商業と交通業の機能を同時にはたしている者がむしろ一般的なケースであったと考えられる。今日の標準産業分類表を金科玉条として製造兼小売業は小売業に、また製造兼修理業はサービス業に分類するという手続きを厳格に適用したとすれば、そのことによって統計の上では 1880 年代の工業はほとんど全滅してしまうに違いない。ともあれ、当時商人のリーダーシップの下にあった工業や交通業などの有業者は統計上おそらく商業として分類される場合が少なくなく、工業や交通業としては少な目にとらえられたであろう。

士農工商の差別がやかましかった旧幕時代はもちろんのこと、そうした身分制が公式には廃止された明治時代に入っても、農は本来的に土地所有者であるが故に社会的にもっとも上位にランクされたし、その余の業にあっては商の実力が他に卓越すると認められていた。それだけに、人々はできれば農もしくは商に格付けされることを望んだに違いない。統計も社会的生産物である以上当然こうした社会の風潮に影響されて、農商へ偏りがちのバイアスをもたざるをえないのである。

さて、次は 1883 年から 1906 年へかけての 23 年間の変化いかんである。第 1 表によると、各産業とも例外なく有業者が増加している。その中で土木建築業の増加がきわだって高い。しかし、ことによるとこれには統計上の問題が残っているかもしれない。というのは、1880 年代の推計に当っては原資料の「力役」をそのまま土木建築業に当てたので、その有業者をあるいは過少に見積る結

果をきたしたかもしれないからである。この点については然るべきデータをえた上であらためて吟味したい。この土木建築業を別とすると、鉱工業と漁業の増加率が高く、諸業のそれは中位、商業のそれは低位である。その結果、諸業から前述の分類不詳相当分を控除すると、1906 年には第二次産業の 15% に対してサービス産業は 14.3% となり、サービス産業が第二次産業を少しく下廻ってしまう。

19 世紀のラスト・クォーターに生じた前述のような雇用変動の本格的な分析はあげて今後の研究に俟たねばならないけれども、ここではさし当り次の論点を示唆しておきたい。第一に、すでに述べたように 1880 年代には商業と工業とが未分化のまま商業の名の下に一括されていたものが、その後の市場経済の発展にともなって漸次分化独立していったから、その分だけ商業の増加は低目に、逆に工業のそれは高目にあらわれたと考えられる。これは明治期の経済発展にもっとも特徴的な出来事といえよう。第二に、都市化と工業化の關係に注目したい。最近、低開発地域の経済開発との関連において過大都市化ということがいわれている。その意味するところは低開発国では都市への人口集中が工業化の進展に先行したり、工業化の進展を越えて進むために、都市では労働需給のバランスが崩れて失業が多発するということである。しかし、こうした現象は必ずしも今日の低開発国に固有のことではない。例えば旧幕時代の江戸がそれである。諸国の歴史をみると、それが果してここにいう意味での過大都市化であったかどうかはさておき、多くの場合都市化は工業化に先行して、工業化のための基盤を用意したようにみえる。このことはわが国においても例外ではなく、少なくとも 19 世紀には都市化は工業化に先行していたとみてよい。そうだとすると、過去に遡るほどサービス部門の雇用は第二次産業のそれにくらべてますます多かったに違いないし、また工業化が都市に追いつく過程では第二次産業の雇用の伸びはサービス部門のそれを上廻ったはずである。

II 1906—40 年の雇用動向

経済の実力に不相応な金本位制への強引な移行の影響をうけて、経済は世紀の境頃から 10 年余にわたる長期の沈滞状態におちいつてしまった。23 産業に分類された有業者推計が利用可能となるのは、この不況と日露戦争の影響が交錯しあっていた 1906 年からである。これから 5 ヶ年ごとの産業別雇用の変化率を算出したのが第 2 表である。但し、1906—10 年は 4 ヶ年であるので、比較の便宜を考慮して実際に算出された変化率を 1.25 倍して 5 ヶ年の率に換算してある。

前述した長期の不況の下で非農林業の雇用の増加は著しく鈍化したから、さもなくば当然流出したはずの労働力——農家次三男層——がそのあおりをうけて農林業の有業者として堆積した。それはしばしば女子を排除しての押込み就業に発展するほどの供給圧力をもっていたから、農業における所得分配は地主に有利化し、引いては地価の騰貴をもたらした。長期不況の鍋底状態の中でひとり地主のみが繁栄するといういわゆる寄生地主の黄金時代はこうしてもたらされたのである。これが日露戦争の武勲に輝く凱旋将兵を迎える当時の経済情勢であったのだから、彼等の間に不平不満の声が高まったとしてもそれはまったく自然なことである。それだけに、当時の経済的、社会的危機ははなはだ深刻なものがあったと推察される。

1910 年代の前半期に入ると、経済はようやく繁栄をとりもどし、投資も消費もさらに輸出までもそろって大幅な増加を示したから、雇用も第二次産業の全般にわたって幅広く伸長した。投資財産業では鉱業、機械器具工業、ガス電気水道業、金属工業、窯業、化学工業において、また消費財産業では印刷製版業、雑工業、被服身装品工業、皮革骨羽毛品工業、紙工業においていずれも 20% 以上の雇用増加を記録した。

こうした経済の活況は折からの第一次大戦にあおられて、1915—20 年の時期にはブームは過熱状態に発展した。しかも、この時期にはより労働節約的な輸入機械の供給がとだえ、効率の著しく劣った国産機械で投資を実施せざるをえなかったか

第2表 産業別有業者の5ヵ年当り変化率(1906—40年)

	1906—10	1910—15	1915—20	1920—25	1925—30	1930—35	1935—40
第一次産業	- 2.4	- 4.7	- 8.1	- 2.3	4.2	- 1.4	0.5
農 林 業	- 2.5	- 4.8	- 8.4	- 2.3	4.0	- 1.5	0.7
漁 業	0.9	- 2.4	- 2.0	- 3.2	9.3	2.7	- 5.2
第二次産業	12.1	19.6	27.8	0.6	- 2.0	11.3	19.8
鉱 業	7.6	48.6	33.3	-28.7	4.0	- 2.9	105.9
土木建築業	16.4	18.6	3.2	17.0	8.3	1.9	1.3
製造工業	11.5	17.7	31.7	0.7	- 5.1	13.4	19.4
窯 業	- 2.1	25.0	- 2.3	- 9.4	- 8.3	3.4	58.5
金 属 工 業	1.0	29.3	32.2	- 7.1	- 1.5	26.4	41.4
機械器具工業	30.3	40.3	83.3	18.0	7.4	27.5	159.2
化 学 工 業	-12.8	23.3	22.2	11.9	22.8	33.0	0.2
紡 織 工 業	27.1	9.2	45.6	- 8.7	-15.0	9.8	- 8.4
被服身装品工業	8.8	27.2	8.5	7.8	- 1.0	12.3	-19.4
紙 工 業	- 5.1	21.4	43.5	- 1.6	1.7	32.5	14.7
印刷製版業	3.3	70.0	25.0	36.5	13.8	2.3	3.7
皮革骨羽毛品工業	6.0	22.7	55.6	-30.2	10.0	18.2	94.9
木竹草蓼品工業	- 7.3	10.4	21.3	2.6	- 3.9	8.6	- 0.4
食 料 品 工 業	24.5	14.9	17.1	18.9	-12.3	- 4.6	-19.0
その他の工業	15.0	35.7	60.5	-33.9	22.0	40.0	- 1.4
ガス電気水道業	13.1	33.3	60.7	-11.1	52.5	40.2	-12.9
サービス産業	11.3	13.9	17.7	20.6	13.5	14.3	- 8.0
商 業	15.1	17.6	9.2	25.4	15.1	11.8	- 8.8
交通業	13.4	9.1	41.1	7.0	1.8	0.8	21.6
船舶運輸業	12.8	8.7	16.5	0.0	-31.5	- 1.9	12.7
その他の交通業	13.6	9.2	50.0	8.9	10.3	1.2	22.9
公務自由サービス業	- 6.4	3.3	31.7	19.0	20.7	38.9	-27.5
陸 海 軍	-55.9	-11.1	123.2	-13.1	25.7	62.0	-83.1
教 育	41.6	7.1	12.5	22.7	8.7	- 9.3	41.5
その他の公務自由サービス業	6.9	7.6	8.4	47.4	29.4	65.2	-27.0
分類不詳	6.8	22.8	- 5.2	4.0	15.2	3.4	32.3

注) 1906—10年の変化率は1.25倍して5ヵ年当りに換算してある。

ら雇用の増加は二重に加速されることとなった。前期に20%以上の雇用増加を示した諸産業は被服身装品工業および窯業の2つを別として今期もそろって20%以上の雇用増加を実現したばかりでなく、機械器具工業、ガス電気水道業、雑工業、皮革骨羽毛品工業、紙工業、金属工業では今期に入って雇用増加率がさらに高まっている。さらに今期には船舶以外の交通業、紡織工業、木竹草蓼品工業の3つが新たに20%以上の雇用増加を記録している。こうした2期連続の全般的な雇用拡大の中にあってひととき目立つのは機械器具工業とガス電気水道業の急テンポの拡大ぶりである。機械器具工業の雇用は1906—10年に30%、1910—15年に40%と早くから大きく増加してきたのであったが、1915—20年には実に83%もの増加を示している。これは多分に機械器具工業が労働集約的産業であるというその産業の技術的特質によるものではあるけれども、他面機械器具の輸入

代替を担当する新たな機械器具工業の簇生を物語るものともいえよう。ガス電気水道業の雇用増加は1906—10年の13%、1910—15年の33%、1915—20年の61%と每期ほぼ倍々のテンポで加速されている。その主力はいうまでもなく電気業である。かくもめざましい電気業の躍進によって産業界はスチーム・エンジンとならんでそれよりも遙かに小額の投資ですむ電動モーターを利用する便宜に恵まれた。このことが中小企業の機械化に与えた効果は計りしれないものがあつた。後進経済のわが国はそのメリットにより格差拡大型のスチーム・エンジン専用時代をきわめて短期間に通過してしまい、きわめて早期に格差縮小型の電動モーター併用時代に入ることゝえたわけである。もしもこうした技術的条件をもつことなしに両大戦間の不況に突入したとしたら、企業の階層分解は一層激しくなり、二重構造は極端な両極集中のタイプを採ったことであろう。ともあれ、こうし

た雇用の飛躍的な増大によって農林部門から非農林部門への労働力の移動は男子では前期の73万から今期の108万へと増加したし、女子でも前期の49万から今期の55万へと伸長したと推定される。その結果、農林業の有業者は1914年から1920年にかけて男子が118万、女子が91万も減少した。これはともに約13%の減少に当る。これは土地用役に対する需要圧力を緩和し、農業所得の分配は小作農に有利化した。当然農業賃金は騰貴したから足踏脱穀機など収穫調整作業の機械化が進んだ。ことは製造工業でも同様で所得の分配は労働者に有利化して、実質賃金の大幅な改善をもたらした。こうした情報を総合判断すれば、この時期に完全雇用の到達を結論してもよいだろう。

1920—25年には輸出は減退し、民間投資の増加もスロー・ダウンしたけれども、消費は前期を上廻って増加し、政府投資は大幅に増大したから、GNPの増加率はほぼ前々期なみのレベルを維持したもののようである。前期の繁栄が余りにもめざましかったためか、戦後恐慌のレッテルに幻惑されてか、この時期に経済ははなはだミゼラブルな状態におち込んでしまったとの印象がとかく強いけれども、それは前期に主役を演じた輸出産業や投資財産業についてのことで、消費に直結したその他の公務自由サービス業、印刷製版業、商業、教育は20%を越える雇用の増加を示したし、20%は若干下廻ったものの食料品工業、機械器具工業、土木建築業などそれぞれ消費、合理化投資、政府投資に結付いた産業では高い雇用増加をみせている。これをうけて農林業の有業者は1926年頃まで男子を中心として減少を続けている。

1925—30年には投資も消費も軒並にその増勢

を鈍化しており、とりわけ個人消費と政府投資において増加率の低下が著しい。それだけに輸出ドライブは強烈で、輸出は一転して大幅な増加を記録した。これらを合せてGNP成長率は前期にくらべておよそ半減した。これから政府の通貨・財政政策の失敗はまったく明らかで、経済は不況のどん底に追いつめられたのである。それだけに、雇用は商業、その他の公務自由サービス業などを中心とするサービス産業で14%増加したのに対して、第二次産業ではガス電気水道業、化学工業、雑工業の大幅な雇用増加にもかかわらずウエイトの大きい紡織工業、食料品工業の雇用の減少がきいて、全体としては微減となった。ために農林漁業では有業者は反転して多少とも増加した。

不況の底は1932年頃におとずれるが、その後の回復はかなり早いテンポで進展したから、1930—35年の時期は全体として回復過程の様相が濃厚である。すなわち、第二次産業の雇用はガス電気水道業、化学工業、機械器具工業、金属工業などの重化学部門を中心として大きく伸長したけれども、前期に引続いて高率な増加を続けるサービス産業にはついにおよばなかった。

次の5ヵ年期は好況というよりはむしろ戦時経済の様相を強く打出している。軍需関連産業の拡大と消費関連産業の圧縮の鋭いコントラストが目立つのがそれである。

1906年以降になると、資料の改善に加えて経済も一応職業の分化が進んだ工業国としての実態をそなえてくるので、第2表からは不況と好況の反復というわれわれにとって馴染の深い雇用変動のパターンが観察されるようになる。

(一橋大学経済研究所)

付表 1 産業別有業者(A 系列)

(単位 1,000人)

		総 計	第 一 次 産 業			第 二 次 産 業									
			農林業	漁 業	計	鉱 業	土木建 築 業	製 造 工 業							
								窯 業	金属工業	機械器 具工業	化学工業	紡織工業	被服身 装品工業	紙工業	印 刷 製版業
男 子	1906	14 990	8 836	494	9 330	170	544	152	234	121	138	300	184	43	37
	07	15 078	8 779	536	9 315	167	538	143	231	127	150	306	197	47	38
	08	15 169	8 758	488	9 246	161	607	133	244	127	119	334	211	47	38
	09	15 256	8 636	499	9 135	188	609	149	256	149	130	342	212	47	46
	1910	15 365	8 712	501	9 213	175	616	154	240	146	129	332	203	48	38
	11	15 507	8 784	511	9 295	174	634	160	253	147	133	318	215	45	43
	12	15 670	8 821	507	9 328	194	667	172	266	166	115	338	224	49	47
	13	15 845	8 889	501	9 390	188	686	170	279	162	132	352	227	52	52
	14	16 010	8 906	522	9 428	265	671	176	277	170	135	351	208	50	50
	1915	16 181	8 440	493	8 933	251	730	189	314	209	151	374	265	60	63
	16	16 367	8 351	546	8 897	236	743	199	340	229	164	403	262	59	57
	17	16 545	8 397	520	8 917	267	731	216	369	273	183	397	271	65	60
	18	16 670	7 729	506	8 235	369	750	246	440	333	218	482	277	63	63
	19	16 753	7 894	460	8 354	330	737	232	404	348	200	494	270	64	64
	1920	16 870	7 723	491	8 214	318	754	173	412	371	180	548	270	84	78
女 子	1906	10 071	7 322	55	7 377	28	12	23	16	3	29	642	118	30	2
	07	10 112	7 312	58	7 370	38	12	23	9	3	36	647	130	30	2
	08	10 148	7 282	62	7 344	36	13	23	9	8	29	684	118	27	2
	09	10 141	7 264	53	7 317	41	13	23	9	8	28	730	123	30	2
	1910	10 110	7 118	52	7 170	35	13	18	12	8	21	814	120	22	2
	11	10 095	7 168	54	7 222	35	14	27	12	3	28	753	121	27	2
	12	10 094	7 123	52	7 175	36	14	27	9	3	28	747	121	27	2
	13	10 106	7 030	50	7 080	40	15	27	12	8	28	794	123	30	2
	14	10 119	7 004	54	7 058	57	15	22	15	3	28	730	115	30	2
	1915	10 124	6 635	47	6 682	61	16	26	12	7	34	877	146	25	5
	16	10 158	6 512	51	6 563	51	16	25	8	7	41	959	148	31	2
	17	10 215	6 520	44	6 564	54	16	30	15	7	49	1 050	160	29	5
	18	10 236	6 250	41	6 291	81	16	37	8	10	46	1 141	160	35	5
	19	10 233	6 133	38	6 171	84	16	29	8	7	32	1 282	150	31	5
	1920	10 255	6 092	38	6 130	98	16	37	19	25	46	1 274	173	38	7
男 女 計	1906	25 061	16 158	549	16 707	198	556	175	250	124	167	942	302	73	39
	07	25 190	16 091	594	16 685	205	550	166	240	130	186	953	327	77	40
	08	25 317	16 040	550	16 590	197	620	156	253	135	148	1 018	329	74	40
	09	25 397	15 900	552	16 452	229	622	172	265	157	158	1 072	335	77	48
	1910	25 475	15 830	553	16 383	210	629	172	252	154	150	1 146	323	70	40
	11	25 602	15 952	565	16 517	209	648	187	265	150	161	1 071	336	72	45
	12	25 764	15 944	559	16 503	230	681	199	275	169	143	1 085	345	76	49
	13	25 951	15 919	551	16 470	228	701	197	291	170	160	1 146	350	82	54
	14	26 129	15 910	576	16 486	322	686	198	292	173	163	1 081	323	80	52
	1915	26 305	15 075	540	15 615	312	746	215	326	216	185	1 251	411	85	68
	16	26 525	14 863	597	15 460	287	759	224	348	236	205	1 362	410	90	59
	17	26 760	14 917	564	15 481	321	747	246	384	280	232	1 447	431	94	65
	18	26 906	13 979	547	14 526	450	766	283	448	343	264	1 623	437	98	68
	19	26 986	14 027	498	14 525	414	753	261	412	355	232	1 776	420	95	69
	1920	27 125	13 815	529	14 344	416	770	210	431	396	226	1 822	446	122	85

産業別有業者(A 系列)

(単位 1,000人)

							サ ー ビ ス 産 業							分類不詳
					ガス電気 水道業	計	商 業	交 通 業		公務自由サービス業			計	
皮革骨羽 毛品工業	木竹草 蓼品工業	食料品 工 業	その他 の工業	計				船舶運輸	その他の 交通業	陸 海 軍	教 育	そ の 他		
16	373	252	23	1 873	37	2 624	1 595	162	433	228	144	184	2 746	290
17	363	273	23	1 915	37	2 657	1 670	184	496	140	145	184	2 819	287
17	384	287	24	1 965	40	2 773	1 700	182	485	144	149	187	2 847	303
18	394	273	25	2 041	41	2 879	1 806	175	474	134	148	194	2 931	311
18	396	289	25	2 018	41	2 850	1 821	180	484	126	177	194	2 982	320
17	398	291	27	2 047	43	2 898	1 842	174	470	121	181	195	2 983	331
17	396	271	25	2 086	42	2 989	1 852	179	481	119	177	199	3 007	346
19	394	291	28	2 158	45	3 077	1 906	170	453	103	182	201	3 015	363
19	394	282	28	2 140	46	3 122	1 935	179	482	104	174	200	3 074	386
23	443	337	33	2 461	54	3 496	2 131	194	521	112	183	205	3 346	406
21	452	342	37	2 565	61	3 605	2 167	218	578	103	165	206	3 437	428
26	466	324	41	2 691	67	3 756	2 160	207	553	132	165	212	3 429	443
25	468	342	51	3 008	84	4 211	2 180	247	658	252	188	217	3 742	482
25	466	350	52	2 969	85	4 121	2 229	250	670	250	179	209	3 787	491
35	531	388	52	3 125	86	4 283	2 218	221	778	250	189	216	3 872	501
5	147	85	2	1 102	1	1 143	751	5	26	—	36	16	834	717
8	104	109	2	1 103	1	1 154	752	4	26	—	42	16	840	748
4	122	116	2	1 144	1	1 194	770	4	26	—	48	16	864	746
4	104	120	2	1 183	1	1 238	746	7	28	—	53	18	852	734
4	94	114	3	1 232	1	1 281	810	4	25	—	63	17	919	740
4	103	108	3	1 191	1	1 241	777	4	26	—	66	16	889	743
4	94	114	4	1 180	2	1 232	831	7	33	—	60	18	949	738
4	118	106	4	1 257	1	1 312	806	7	31	—	68	18	930	784
4	93	113	4	1 151	1	1 232	854	7	31	—	68	16	976	853
4	98	126	5	1 365	2	1 444	962	6	35	—	74	22	1 099	899
7	113	125	5	1 471	2	1 540	990	8	41	—	75	23	1 137	918
7	120	108	6	1 586	3	1 659	967	8	35	—	75	23	1 108	884
7	102	115	8	1 674	3	1 774	1 002	8	39	—	91	22	1 162	1 009
7	94	132	10	1 787	4	1 891	989	8	41	—	102	23	1 163	1 008
7	125	154	9	1 914	4	2 032	1 160	12	56	—	100	30	1 358	735
21	520	337	25	2 975	38	3 767	2 346	167	459	228	180	200	3 580	1 007
25	467	382	25	3 018	38	3 811	2 422	188	522	140	187	200	3 659	1 035
21	506	403	26	3 109	41	3 967	2 470	186	511	144	197	203	3 711	1 049
22	498	393	27	3 224	42	4 117	2 552	182	502	134	201	212	3 783	1 045
22	490	403	28	3 250	42	4 131	2 631	184	509	126	240	211	3 901	1 060
21	501	399	30	3 238	44	4 139	2 619	178	496	121	247	211	3 872	1 074
21	490	385	29	3 266	44	4 221	2 683	186	514	119	237	217	3 956	1 084
23	512	397	32	3 414	46	4 389	2 712	177	484	103	250	219	3 945	1 147
23	487	395	32	3 299	47	4 354	2 789	186	513	104	242	216	4 050	1 239
27	541	463	38	3 826	56	4 940	3 093	200	556	112	257	227	4 445	1 305
28	565	467	42	4 036	63	5 145	3 157	226	619	103	240	229	4 574	1 346
33	586	432	47	4 277	70	5 415	3 127	215	588	132	240	235	4 537	1 327
32	570	457	59	4 682	87	5 985	3 182	255	697	252	279	239	4 904	1 491
32	560	482	62	4 756	89	6 012	3 218	258	711	250	281	232	4 950	1 499
42	656	542	61	5 039	90	6 315	3 378	233	834	250	289	246	5 230	1 236

付表2 産業別有業者(B系列)

(単位 1,000人)

		総 計	第 一 次 産 業			第 二 次 産 業									
			農林業	漁 業	計	鉱 業	土木建 築 業	製 造 工 業							
								窯 業	金属工業	機械器 具工業	化学工業	紡織工業	被服身 装品工業	紙工業	印 刷 製版業
男	1920	16 988	7 752	495	8 247	323	766	176	416	374	181	554	275	85	78
	21	17 120	7 784	479	8 263	242	774	178	401	383	182	567	291	89	82
	22	17 317	7 779	487	8 266	210	809	173	417	391	202	625	287	87	94
	23	17 504	7 509	473	7 982	218	824	185	462	418	189	623	327	98	107
	24	17 630	7 538	469	8 007	258	864	158	383	431	196	532	287	88	99
	1925	17 828	7 525	473	7 998	249	901	167	386	459	219	545	288	88	106
	26	18 063	7 487	477	7 964	258	940	178	395	452	233	552	300	96	116
	27	18 204	7 535	480	8 015	285	932	122	342	484	250	453	273	86	113
	28	18 458	7 588	484	8 072	274	967	132	347	498	254	456	281	87	120
	29	18 713	7 712	493	8 205	290	984	148	365	464	258	449	286	84	116
子	1930	19 030	7 694	512	8 206	268	982	149	379	489	261	489	304	95	124
	31	19 279	7 820	509	8 329	224	972	141	382	503	289	457	314	93	135
	32	19 491	7 974	504	8 478	207	973	147	363	468	293	448	312	115	123
	33	19 738	7 854	545	8 399	219	1 007	160	391	505	296	462	314	120	128
	34	19 975	7 810	497	8 307	242	979	156	449	579	346	463	324	122	130
	1935	20 252	7 706	518	8 224	282	994	153	482	626	361	514	326	126	130
	36	20 301	7 621	511	8 132	360	999	175	505	656	350	534	337	132	140
	37	20 015	7 344	500	7 844	363	993	189	540	851	340	530	302	130	134
	38	19 809	7 105	493	7 598	424	988	204	574	1 044	333	529	267	131	129
	39	19 806	6 938	489	7 427	491	996	218	616	1 246	329	533	238	131	123
1940	19 745	6 757	484	7 241	554	999	233	654	1 443	324	535	205	130	118	
女	1920	10 272	6 103	38	6 141	98	16	37	19	25	46	1 279	173	38	7
	21	10 285	6 171	38	6 209	72	16	29	8	17	32	1 151	198	38	7
	22	10 318	6 053	38	6 091	57	15	29	14	18	46	1 319	198	35	9
	23	10 368	5 844	34	5 878	60	15	32	24	21	38	1 318	229	37	7
	24	10 243	6 157	48	6 205	64	15	30	16	15	25	1 038	183	32	7
	1925	10 277	6 015	43	6 058	51	14	26	18	12	35	1 128	195	33	10
	26	10 371	6 003	43	6 046	52	13	32	21	12	35	1 116	193	33	10
	27	10 280	6 170	48	6 218	50	12	19	18	16	45	1 047	166	27	7
	28	10 368	6 259	56	6 315	47	11	27	17	17	39	993	155	29	7
	29	10 456	6 327	60	6 387	45	10	24	19	14	43	977	174	27	7
子	1930	10 589	6 390	52	6 442	44	9	28	19	17	51	933	174	28	8
	31	10 657	6 381	50	6 431	29	10	25	15	12	42	926	169	35	6
	32	10 732	6 470	48	6 518	18	12	19	13	12	39	872	170	38	5
	33	10 806	6 435	49	6 484	21	14	23	13	12	61	870	178	32	4
	34	10 852	6 308	58	6 366	19	15	28	17	16	47	935	197	36	4
	1935	10 959	6 165	61	6 226	21	16	30	21	19	54	1 047	211	37	5
	36	11 306	6 284	59	6 343	24	18	39	26	24	59	1 085	228	43	6
	37	11 680	6 520	61	6 581	35	19	43	34	71	67	1 046	229	47	9
	38	12 049	6 754	63	6 817	46	21	48	41	121	75	1 001	230	51	13
	39	12 392	6 980	64	7 044	58	22	52	49	173	82	950	229	53	17
1940	12 755	7 217	65	7 282	70	24	57	57	229	92	895	228	57	22	
男	1920	27 260	13 855	533	14 388	421	782	213	435	399	227	1 833	448	123	85
	21	27 405	13 955	517	14 472	314	790	207	409	400	214	1 718	489	127	89
	22	27 635	13 832	525	14 357	267	824	202	431	409	248	1 944	485	122	103
	23	27 872	13 353	507	13 860	278	839	217	486	439	227	1 941	556	135	114
	24	27 873	13 695	517	14 212	322	879	188	399	446	221	1 570	470	120	106
	1925	28 105	13 540	516	14 056	300	915	193	404	471	254	1 673	483	121	116
	26	28 434	13 490	520	14 010	310	953	210	416	464	268	1 668	493	129	126
	27	28 484	13 705	528	14 233	335	944	141	360	500	295	1 500	439	113	120
	28	28 826	13 847	540	14 387	321	978	159	364	515	293	1 449	436	116	127
	29	29 169	14 039	553	14 592	335	994	172	384	478	301	1 426	460	111	123
女	1930	29 619	14 084	564	14 648	312	991	177	398	506	312	1 422	478	123	132
	31	29 936	14 201	559	14 760	253	982	166	397	515	331	1 383	483	128	141
	32	30 223	14 444	552	14 996	225	985	166	376	480	332	1 320	482	153	128
	33	30 544	14 289	594	14 883	240	1 021	183	404	517	357	1 332	492	152	132
	34	30 827	14 118	555	14 673	261	994	184	466	595	393	1 398	521	158	134
	1935	31 211	13 871	579	14 450	303	1 010	183	503	645	415	1 561	537	163	135
	36	31 607	13 905	570	12 475	324	1 017	214	531	680	409	1 619	565	175	146
	37	31 695	13 864	561	14 425	398	1 012	232	574	922	407	1 576	531	177	143
	38	31 858	13 859	556	14 415	470	1 009	252	615	1 165	408	1 530	497	182	142
	39	32 198	13 918	553	14 471	549	1 018	270	665	1 419	411	1 483	467	184	140
1940	32 500	13 974	549	14 523	624	1 023	270	711	1 672	416	1 430	433	187	140	

産業別有業者(B系列)

(単位 1,000人)

							サ ー ビ ス 産 業							分類不詳
					ガス電気 水道業	計	商 業	交 通 業		公 務 自 由 サ ー ビ ス 業			計	
皮革骨羽 毛品工業	木竹草 蓑品工業	食料品 工 業	その他 の工業	計				船舶運輸	その他の 交通業	陸 海 軍	教 育	そ の 他		
36	533	391	53	3 152	86	4 327	2 237	223	787	251	190	217	3 905	509
31	507	428	50	3 189	82	4 287	2 474	269	712	149	209	240	4 053	517
26	545	431	43	3 321	70	4 410	2 511	270	715	151	229	244	4 120	521
26	551	494	46	3 526	75	4 643	2 710	284	746	130	221	252	4 343	536
26	577	473	36	3 286	78	4 486	2 181	220	832	230	223	333	4 649	488
26	573	484	35	3 376	77	4 603	2 882	222	846	218	239	332	4 739	488
28	575	472	37	3 434	82	4 714	3 046	219	836	187	249	352	4 889	496
25	559	404	37	3 148	103	4 468	3 191	142	890	282	240	431	5 176	545
28	561	402	41	3 207	114	4 562	3 269	146	908	240	234	452	5 249	575
22	591	415	43	3 241	120	4 635	3 256	150	921	262	247	444	5 280	593
29	580	432	42	3 373	118	4 741	3 416	150	934	274	268	447	5 489	594
23	578	453	38	3 406	107	4 709	3 522	150	935	318	264	470	5 659	582
29	602	446	47	3 393	134	4 707	3 592	146	930	312	232	626	5 838	468
36	638	458	46	3 554	130	4 910	3 646	140	892	367	233	707	5 985	444
30	649	443	50	3 741	142	5 104	3 671	144	917	419	234	729	6 114	450
30	636	419	58	3 861	165	5 302	3 728	146	936	444	241	751	6 246	480
37	654	390	67	3 912	189	5 465	3 674	148	944	475	227	761	6 229	475
44	633	366	62	4 122	176	5 653	3 505	152	981	370	250	689	5 947	571
51	616	345	58	4 281	162	5 855	3 351	156	1 018	269	271	618	5 683	673
57	604	327	54	4 476	152	6 115	3 236	162	1 068	172	297	557	5 492	772
65	590	308	50	4 655	140	6 348	3 112	168	1 112	75	320	492	5 279	877
7	125	154	9	1 919	4	2 037	1 161	12	56	—	101	30	1 360	734
7	96	166	8	1 757	3	1 848	1 260	12	54	—	119	34	1 479	749
4	101	165	7	1 945	3	2 020	1 230	12	57	—	121	34	1 454	753
4	107	192	9	2 018	4	2 097	1 348	20	88	—	126	38	1 620	773
4	109	179	6	1 644	3	1 726	1 343	12	66	—	109	29	1 559	753
4	102	164	6	1 733	3	1 801	1 378	13	72	—	118	32	1 613	805
8	120	186	6	1 772	3	1 840	1 481	12	65	—	118	34	1 710	775
8	71	136	7	1 567	4	1 633	1 404	9	69	—	109	23	1 614	815
8	85	113	8	1 498	4	1 560	1 403	9	67	—	113	23	1 615	878
8	64	128	9	1 494	4	1 553	1 411	9	70	—	107	24	1 631	895
4	69	136	8	1 475	4	1 532	1 486	11	79	—	120	24	1 720	895
9	65	147	8	1 459	4	1 502	1 567	12	82	—	116	26	1 803	921
4	60	126	9	1 367	4	1 401	1 703	10	74	—	102	25	1 914	899
9	74	111	9	1 396	5	1 436	1 738	10	77	—	114	27	1 966	920
9	74	128	11	1 502	5	1 541	1 738	11	85	—	102	29	1 965	980
9	69	123	12	1 637	6	1 680	1 754	12	89	—	111	27	1 993	1 060
9	76	113	15	1 723	8	1 773	1 861	12	93	—	120	30	2 116	1 074
9	84	118	16	1 773	8	1 835	1 874	12	106	—	134	41	2 167	1 097
11	94	123	17	1 825	8	1 900	1 882	12	119	—	148	53	2 214	1 118
11	103	126	18	1 863	9	1 952	1 886	11	134	—	163	64	2 258	1 138
11	112	131	19	1 910	9	2 013	1 888	10	148	—	178	76	2 300	1 160
43	658	545	62	5 071	90	6 364	3 398	235	843	251	291	247	5 265	1 243
38	603	594	58	4 946	85	6 135	3 734	281	766	149	329	274	5 532	1 266
30	646	596	50	5 266	73	6 430	3 741	282	772	151	350	278	5 574	1 274
30	658	686	55	5 544	79	6 740	4 058	304	834	130	347	290	5 963	1 309
30	686	652	42	4 930	81	6 212	4 154	232	898	230	332	362	6 208	1 241
30	675	648	41	5 109	80	6 404	4 260	235	918	218	357	364	6 352	1 293
36	695	658	43	5 206	85	6 554	4 527	231	901	187	367	386	6 599	1 271
33	630	540	44	4 715	107	6 101	4 595	151	959	282	349	454	6 790	1 360
36	646	515	49	4 705	118	6 122	4 672	155	975	240	347	475	6 864	1 453
30	655	543	52	4 735	124	6 188	4 667	159	991	262	354	468	6 901	1 488
33	649	568	50	4 848	122	6 273	4 902	161	1 013	274	388	471	7 209	1 489
32	643	600	46	4 865	111	6 211	5 089	162	1 017	318	380	496	7 462	1 503
33	662	572	56	4 760	138	6 108	5 295	156	1 004	312	334	651	7 752	1 367
45	712	569	55	4 950	135	6 346	5 384	150	969	367	347	734	7 951	1 364
39	723	571	61	5 243	147	6 645	5 409	155	1 002	419	336	758	8 079	1 430
39	705	542	70	5 498	171	6 982	5 482	158	1 025	444	352	778	8 239	1 540
46	730	503	82	5 700	197	7 238	5 535	160	1 037	475	347	791	8 345	1 549
53	717	484	78	5 894	184	7 488	5 379	164	1 087	370	384	730	8 114	1 668
62	710	468	75	6 106	170	7 755	5 233	168	1 137	269	419	671	7 897	1 791
68	707	453	72	6 339	161	8 067	5 122	173	1 202	172	460	621	7 750	1 910
76	702	439	69	6 565	149	8 361	5 000	178	1 260	75	498	568	7 579	2 037

付表3 有業者数(A系列)

(単位: 1000人)

	総 計			農 林 業			非 農 林 業		
	男 子	女 子	男 女 計	男 子	女 子	男 女 計	男 子	女 子	男 女 計
1872	12 263	9 108	21 371	8 497	7 028	15 525	3 766	2 080	5 846
73	12 279	9 120	21 399	8 511	7 028	15 539	3 768	2 092	5 860
74	12 292	9 129	21 421	8 515	7 056	15 571	3 777	2 073	5 850
1875	12 318	9 148	21 466	8 526	7 059	15 585	3 792	2 089	5 881
76	12 370	9 184	21 554	8 527	7 080	15 607	3 843	2 104	5 947
77	12 431	9 230	21 661	8 533	7 084	15 617	3 898	2 146	6 044
78	12 484	9 270	21 754	8 538	7 086	15 624	3 946	2 184	6 130
79	12 516	9 290	21 806	8 543	7 088	15 631	3 973	2 202	6 175
1880	12 562	9 313	21 875	8 549	7 092	15 641	4 013	2 221	6 234
81	12 626	9 320	21 946	8 547	7 095	15 642	4 079	2 225	6 304
82	12 677	9 294	21 971	8 549	7 097	15 646	4 128	2 197	6 325
83	12 770	9 313	22 083	8 550	7 098	15 648	4 220	2 215	6 435
84	12 879	9 358	22 237	8 556	7 106	15 662	4 323	2 252	6 575
1885	12 960	9 379	22 339	8 551	7 103	15 654	4 409	2 276	6 685
86	13 021	9 380	22 401	8 548	7 103	15 651	4 473	2 277	6 750
87	13 089	9 388	22 477	8 548	7 107	15 655	4 541	2 281	6 822
88	13 207	9 436	22 643	8 541	7 102	15 643	4 666	2 334	7 000
89	13 350	9 503	22 853	8 435	7 102	15 537	4 915	2 401	7 316
1890	13 477	9 565	23 042	8 529	7 108	15 637	4 948	2 457	7 405
91	13 572	9 610	23 182	8 538	7 120	15 658	5 034	2 490	7 524
92	13 669	9 660	23 329	8 393	7 113	15 506	5 276	2 547	7 823
93	13 762	9 704	23 466	8 333	7 110	15 443	5 429	2 594	8 023
94	13 847	9 742	23 589	8 340	7 116	15 456	5 507	2 626	8 133
1895	13 925	9 799	23 724	8 356	7 126	15 482	5 569	2 673	8 242
96	13 993	9 850	23 843	8 390	7 150	15 540	5 603	2 700	8 303
97	14 096	9 902	23 998	8 382	7 140	15 522	5 714	2 762	8 476
98	14 179	9 953	24 132	8 406	7 158	15 564	5 773	2 795	8 568
99	14 251	9 995	24 246	8 435	7 178	15 613	5 816	2 817	8 633
1900	14 346	10 032	24 378	8 668	7 185	15 853	5 678	2 847	8 525
01	14 454	10 041	24 495	8 656	7 176	15 832	5 798	2 865	8 663
02	14 577	10 042	24 619	8 676	7 193	15 869	5 901	2 849	8 750
03	14 716	10 048	24 764	8 662	7 181	15 843	6 054	2 867	8 921
04	14 842	10 058	24 900	8 665	7 184	15 849	6 177	2 874	9 051
1905	14 922	10 060	24 982	8 649	7 172	15 821	6 273	2 888	9 161